

補助金情報



中小企業省力化投資補助金

コンサルタントの永利です。

今回は、「**中小企業省力化投資補助金(以下、カタログ型補助金)**」について紹介いたします。このカタログ型補助金は、中小企業などがIoTやロボットなどの人手不足解消に効果がある製品を、補助金事務局が提示する「**カタログ**」から**選んで導入**することで、企業の成長や賃金の向上を支援するものです。

事務局のカタログは日々更新されております。「導入を計画している製品は対象なのか知りたい。」や「カタログに製品を登録したい。」などございましたら、弊社までお気軽にお問い合わせください！



人手不足解消 生産性向上 付加価値向上

制度概要

補助事業名称 省力化投資補助金(カタログ型)

従業員別補助上限額 **右記参照⇒**

補助率 1/2

公募期間 1回目:R6年6月25日～R6年7月19日(予定)

※公募は、令和8年9月末頃までの2年半、計15回ほど継続予定。(計12万件の採択を予定)

※カタログへの登録は最終公募回の半年前まで随時行われる。

※一事業者一度までしか補助金を利用できない。

※過去3年以内にもものづくり補助金を活用している場合、利用できないことがある。(詳しくは弊社にご連絡ください。)

補助額の内訳

5人以下	200万円(300万円)
6～20人	500万円(750万円)
21人以上	1,000万円(1,500万円)

※()内は賃上げ要件を達成した場合の金額

対象設備 ※HPに記載しているもの

現状、選定機器少ないですが、随時追加されております！

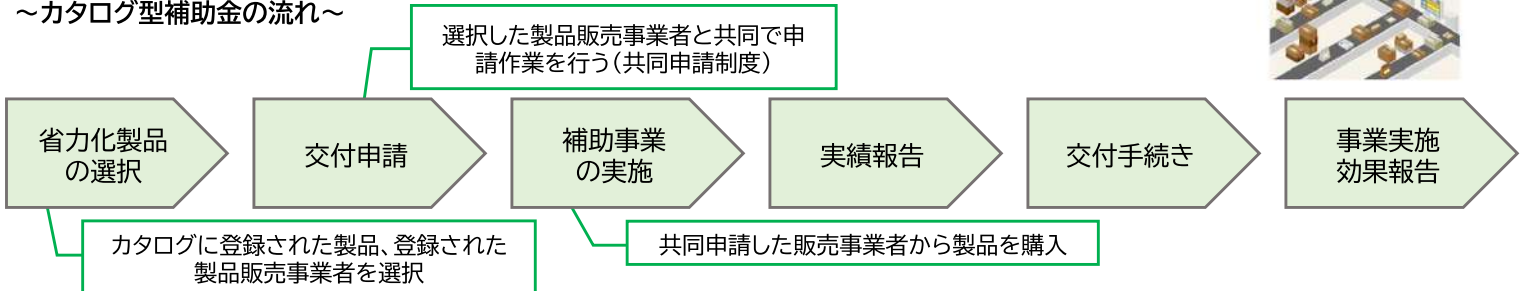
【自動化設備】

- AGV、AMR
- 仕分けシステム
- 自動倉庫
- お掃除ロボット など



事業概要

～カタログ型補助金の流れ～



補助金採択後支援のコーナー

補助金申請において、避けては通れないものとなっている”差し戻し”。

中でも、時系列が合わない証拠書類に関しては、弊社でも書類不備としてよくお声がけさせていただきます。

「契約日より前に納品している」、「支払日より後の日付で請求書が発行されている」・・・などなど、不備が見つかり次第、弊社の担当者よりご案内しますので修正等のご協力をお願いいたします！

事業再構築補助金 進捗状況

2024年6月15日現在(表内数字はお客様の数です)

公募回	採択日	交付申請				実績報告				補助金確定
		書類依頼中	報告書作成中	申請・修正中	事業実施	書類依頼中	報告書作成中	申請・修正中		
		お客様	ゼロプラス	事務局	お客様	お客様	ゼロプラス	事務局		
6次公募	2022/9/15			1	1			3		36
7次公募	2022/12/15			1		1	1	10		38
8次公募	2023/4/6			6	1	2		15		30
9次公募	2023/6/15				3	3		2		6
10次公募	2023/9/22	4		5	5		1	1		1
11次公募	2024/2/13	3	3	19	12			3		



当社HP		Youtube		CO2比較.com		Instagram	
ゼロプラスの歴史 や事業内容につ いてチェック		当社の会社紹介 や脱炭素セミナー の様子をチェック		脱炭素情報はこ ちらをチェック		インスタグラム 始めました！	

問い合わせ先
〒 664-0858
兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F
TEL 072-764-5340
FAX 03-6800-5265
Mail info@zeroplus-consul.co.jp

脱炭素関連情報

SBTの最新情報

コンサルタントの山下です。

今回はSBTの最新情報をお伝えします。国際認証であるSBTは、昨年から急激に認定数が増加。現在では、なんとSBT事務局のイギリスを抑え、日本が認定数No.1となっています。

多くのメディアがこぞって記事を書きニュースとなっていますが、今後この流れはさらに加速していきます。取り残されないよう最新情報は必ずチェックしておきましょう！



公式LINE始めました！

ゼロプラス10周年を記念して公式LINEの運用を開始しました。今まではメルマガ配信だった、補助金・脱炭素などのお役立ち情報を公式LINEでも配信していきます！

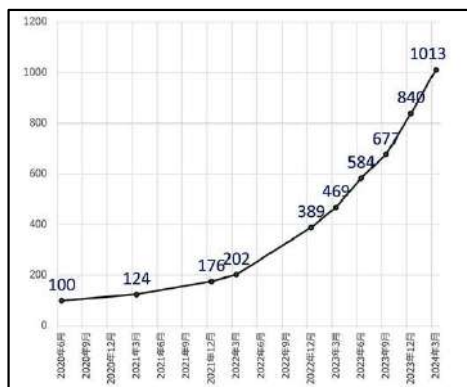
- ・お役立ち情報配信
- ・お気軽相談窓口



日本企業SBT認定・コミットが1000社超え

2024/03/08

2024年3月、科学に基づく企業の気候目標であるSBTの認定取得または取得することを約束(コミット)した日本企業の数が増えました。この数字はイギリスに次いで世界2位、既に認定を取得した企業に限ると日本企業は世界1位です。その数字は加速度的に増えており、大きな脱炭素のうねりとなっています。



参照元:WWFジャパン



今なら1年間無料！



脱炭素講座

問題1： SBT認定について正しい回答はどれ？

1. 大企業・中堅企業向け、中小企業向けそれぞれのSBT認定がある。
2. 認定企業はスコープ3まで算定が必要である。
3. 新しく日本国内にも窓口が設置された。

問題2： グリーン電力証書について正しい回答はどれ？

1. SBTではグリーン電力証書を使用してのオフセットは認められていない。
2. 再エネ電力の環境価値を置き換えたものである。
3. 証書の発行はかならず再エネ電力とセットで販売しなければならない。

答えと解説はコチラ！



2:2 1:1 1:1 1:1

代表から一言

ゼロプラス10周年

ゼロプラスは2024年7月10日に設立10周年を迎えます。思い返せば私が脱サラしたのは2012年7月、その後「おおば中小企業診断士事務所」という個人事業主で創業しました。当初は顧客もなく、松葉ガニを売ったり、工作機械の販売をしたり試行錯誤でしたが、2013年春にもものづくり補助金が始まり、これの支援を実施することで安定的な経営ができるようになりました。2013年当時臨月の妻と2人、自宅のリビングを書類で埋め尽くしながら補助金の申請をしたことが懐かしい思い出です。2014年7月にゼロプラスを創業、お客様、ご紹介先、従業員に恵まれて、10年間成長し続けることができました。これからも、お客様の売上にゼロをプラスする(売上を一桁上げる)という屋号に込められた思いを実現するため、皆様と共存共栄、ともに発展していきたいと思ひます。



大場 正樹



株式会社 ゼロプラス
ZEROPLUS Co., Ltd